

昭和三年

自九月一日至十月三日

福光疎開學園日誌

第三輯

東京女子高等師範學校
附屬國民學校

三年五月

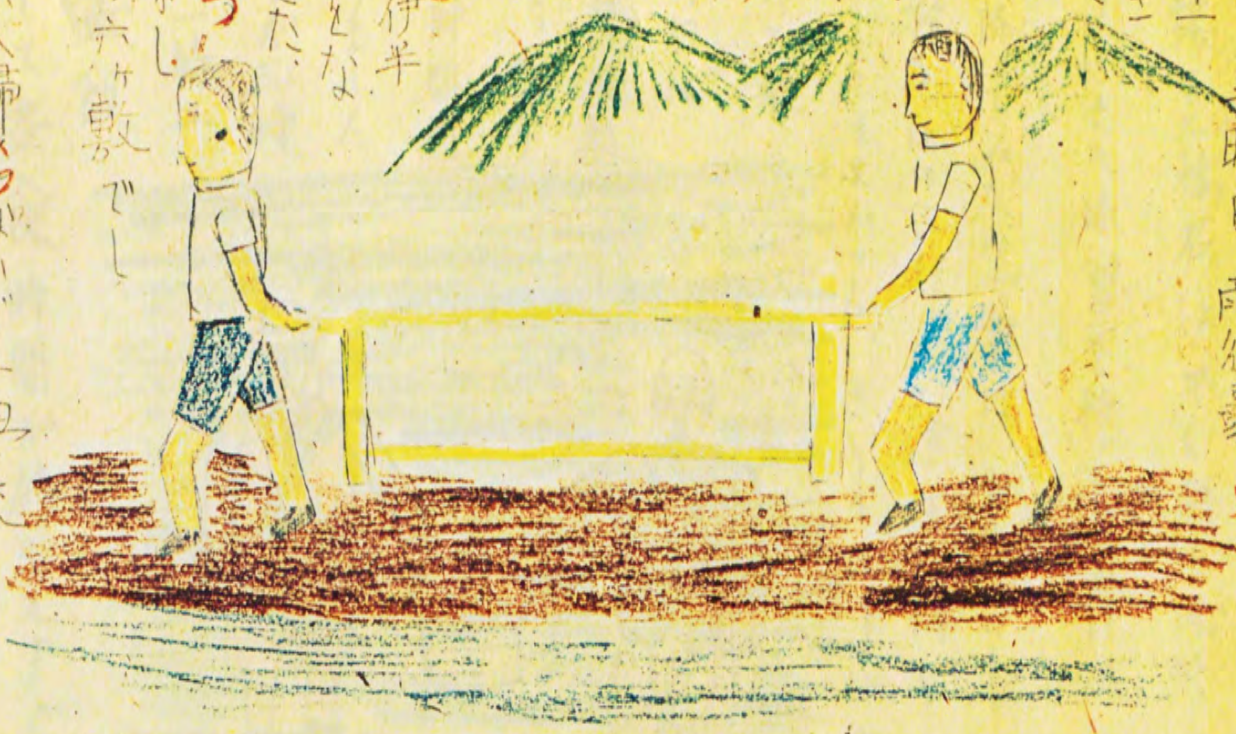
[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

序

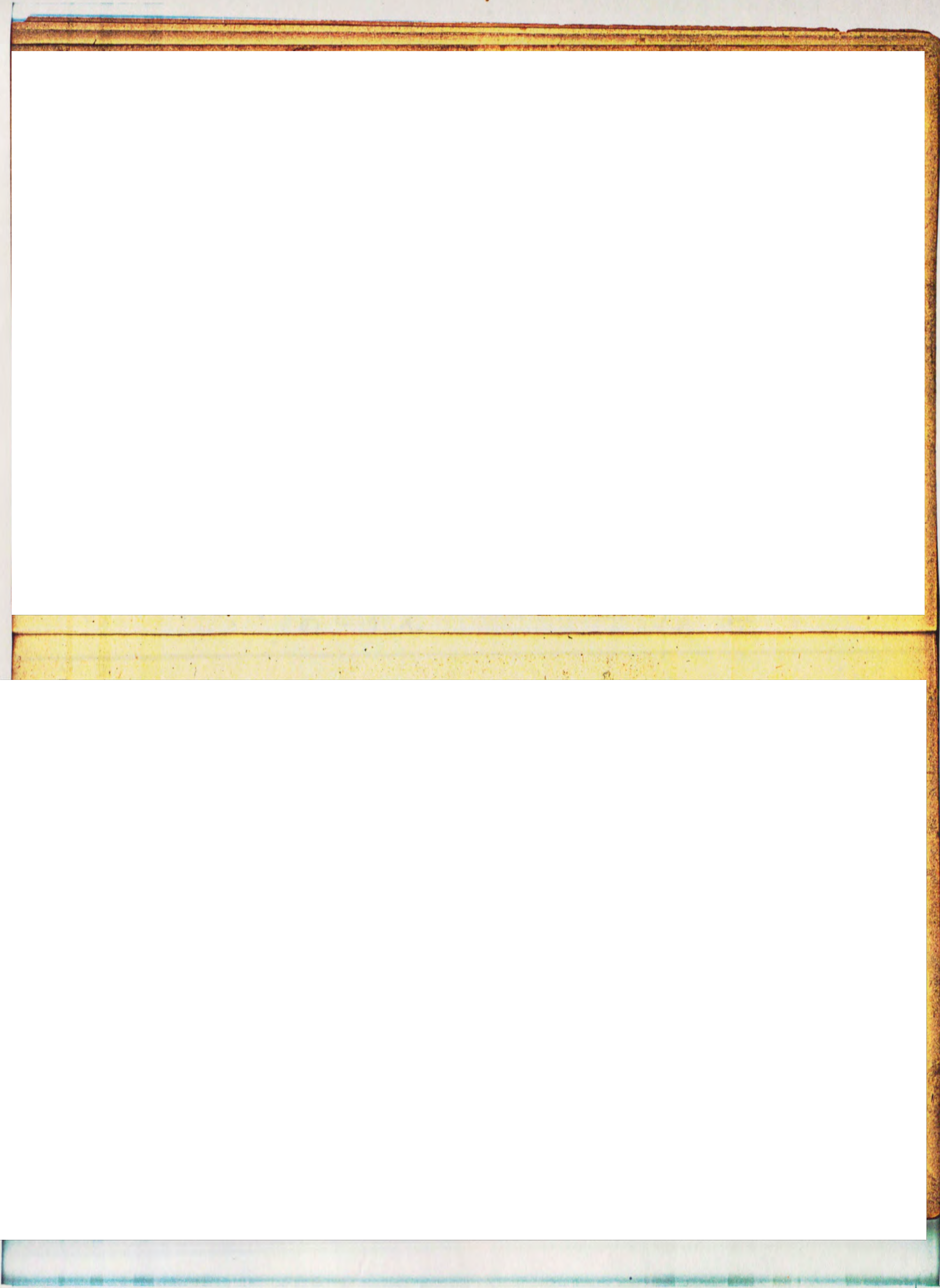
勝つ所の勝算も敗戦途中にありつたがなすべくならぬ。昨の
 日、東海は急に船帯したる所、お小め谷陣に突進するに
 かの感あるを、今不足に八寸の頭を揃すのみならず
 九月にとうと陸用後帰る意、今も依兵とて是とらぬ
 当振も下りに帰るに、(或はほまじ) 心にかきか
 其の旨と待つに、如十日の始の道に三百来まで、帰るすとの司令に接
 し、念冬越の準備にかつる。野草の指、好く、廿五、茶、
 小田草を多く、多く、隙候を成し、あつて、以前の守巻不足に、
 案巻不足を、城冬の方には、歸るに、お小め谷、守巻不足に、
 者、頭、に、何、を、と、進、つ、て、い、ま、う、ら、あ、つ、て、中、の、十、日、十、九、日、者、松、板、を、在、球
 所、の、ウ、歸、る、隙、に、は、初、進、か、は、主、と、白、名、位、と、な、つ、て、い、ま、う、ら、い、。 秋、は
 兵、隊、と、な、る、者、を、御、心、に、お、よ、し、山、立、即、習、其、の、心、の、み、に、も、以、前、に、等、し、
 取、け、あ、る、ら、客、の、斯、う、い、始、め、は、雪、深、い、太、加、来、の、心、を、う、ら、う、。

行つて早くかへつて来て少しさびしいでした。
九月一日 土曜日 雨後曇 守口

今日は九月一日で二学期の始めです。午前中第三日目の授業をしました。國語の時は秋のおとぎ話を習ひました。僕はもう秋だなあと思ひました。地理は紀伊半島の所をならひました。そして地づを書きました。た。と。も。六ヶ敷でした。



午後、寮へ歸るまいで女學校にぬまました。三時におやつのはち豆が出ました。とてもおいしかったです。それから机運びをしました。僕たちには六こあたりありました。とてもいい机でした。夜はかたいいッはんでした。寮へ歸つて本をよみました。ねづみが出るのでねづみ取りをかけたねました。



九月六日 (木曜日) 晴時々曇 河野

今日は休養日だ。朝食に行く時、八人でたくあんのはいて、ねたたるを二つ運んで行った。二人で一つをかつぐと、少しよろよろとした。女学校まで

運んで行った。すると、ダグラスが飛んで行った。

午前中は、寮へ歸らいて、學校で日記を書いたり、本を讀んだりした。

午後は寮へ歸って

休養した。本を讀んでゐると、そのうちに爆音がして、アブエンジンやF6FやF7Fなどが飛んでゐた。みんな頭を窓から出して見た。富山縣の上をせんかいてゐるやうだったが、そのうちに行つてしまった。その後も本を見たり、午睡したりした。夕食後寮へ歸ってから、本を讀んだり、話をしたりしてゐると、先生が、かんぱんのおやつを、五こづつ下さった。とてもおいしかった。



九月七日 (金曜日) 晴

今日は第一日目の授業だ。今日から新しい時間割で授業をすることになって、教室の

黒板にぼくたちは図書館となつていたので
図書館へ行きまゝした。時間目は地理

でした。伊予半島の所を
しらべました。半島と思は
れなほと大きざうた。真

中へんに吉野山がありま
した。そのべん一帯は、
杉の名産地だと

いふこともしう
べまゝた海岸
はりアス式
ででこぼと
してみる
ことな
ど教へ
ていた
だきま
した

二時間
目は圖エでした
が自習でした
三時間目は算

数でした。井後は寮へ歸り、
にいました。二時半から枝豆の
りまゝした。としまおし
から、錢湯へ行きまゝした。



九月十日 (月曜日) 曇 本間

今日は、第三日目の授業をしました。宮地先生は、いらっしやらないし喜門先生は、福野へいらっしやったので、第一時から第三時まで、ずつと自習をしておきました。第一時は、飛行機の整備の個人字書取をしました。第二時は、國史の本を讀んで、それから日記を書きました。第三時は、地理の本を讀んで、それから、地圖を書きました。晝食の前、三部、六年が、いざやの配給を取りに行きました。五十五



ありました。二時半におやつがあるので、晝食
後は、學校におきました。そして、本を讀んだり、
てあました。二時半におぼちのおやつがあ
りました。僕たちは、二つづつあたりました。
とてもおいしいでした。おやつがすんでか
ら、西尾寮は野菜の配給を取りに行きました。
たなすと、さうまいもの葉でした。僕は重富君
と二人で運びました。運び終って學校へ行
くと、また、五年女子が野菜の配給を取りに行
きました。それから、夕食まで、運動場で運動し
ました。はじめは、高い鐵棒で、足掛けあがりな
しました。でも、ばんさうこうがはがれたら
なので、やめてしまいました。それから、池の
魚を見て、いろいろ話をしました。それから、
ら、せみを取りに行きました。二匹も、取れま
せんでした。それから、少したって、夕食に
なつたので、室内へはいりました。夕食後寮
にゐると、西尾さんのそばさんが、大阪へいこうと
やつた。

九月十三日（木曜日）曇 森
 今日、第六日目の授業でした。一時間目の算数は、ぐう数、き数のおべんきやうをしました。二時間目の國語は、飛行機の整備ををはりました。三時間目の習字は初めのうちは日記を書いたり算数のつづきをしてみましたが途中から習字の名前のれんしゆうをしました。あまリうまく行ませんでした。
 午後は、せいせき會ぎなので二号教室にはいれないので音楽室で日記をかいたりしておきました。
 かいてから、外で鬼ごっこやいろいろのことをし



て遊びました。途中雨が少しふつてきたので又音楽室にはいつておきました。あまりたいくつになつて来たのでたいけんきううむつで男だいたいせんぶでかいせんをしました。そのしゅうぶのおほらないうちにせいせき會ギがあらはつてかへることになりました。かへつて物をあいてすぐ英れいむかへに行きました。今日は四ほしらの英れいむをおむかへしました。それからすぐ女學校に夕食をたべに行きました。すると急に、五年の男は、米屋へもち米はこびに行きました。たいぶたくさんありました。それを本田寮へおいて来ました。それから行くともうみんなたべておきました。

宇佐八幡宮はもう十五日のおまつりの用意にちようちんをかやつておきました。

九月廿日

金曜日

曇時々雨

宇口

今日は砂谷の國民學校へかぼちやを取りに行きました。八時半に五六年は校庭を出発しました。三四年は桑山へ行くことです。山又山の山道をつたわつて行くとき、大きなたんねるがありました。その両がはにはがソリンのかんがたたくさんあつてとてもくさいでした。それをたたくと「ガーンガーン」とほら穴にひびいてとても気が悪いです。そのとんねるを通り越すとずつとくんだりになつてとてもくさいと近くにあ

ました。これが二里半もあるのかと思ひました。



まじりつぱな物ばかりでした。そのかぼちやを真中に置いて式をやりました。これがみんな國民學校の生とヤンが自分でお作りになつた物ばかりだといふ事を聞いておどろきました。お晝におつゆをくださりました。お晝のいりで、お晝からかぼちやを二こづつリック道へ入れて、出発しました。山のがけの所が蛙をのんでゐるのを見ました。途中へわりとつかれました。歸つて見ると四時ころだつたので、食事を四時半にしました。きゆうりがあつてとてもあつて、それからかぼちやを船岡寮へ持つてきました。何やお姉様から手紙が来たのでうれしゅうで、西尾さんが柿をくださいました。とてもおいしいでした。

けであったか中から笛の音タイコの音が聞こえて
来てにぎやかであった。式が終るとすぐ晝食でいた。
午後は寮へ歸って自由でいた。
僕は、日記を書いたり本を讀んだりしていま
いた。
夕食は、いつもより早くお祭りなのでお赤飯や
南風につけや鮭かんが出るとも御馳走でいた。

飯
飯

九月十九日

(水曜日)

晴時々曇 河野

今日は二日目の授業をした。時間がおそくなつたので朝會は室内でやった。五年は圖書館だつた。一時間目の國語は『十八飛行機の整備』の考査をした。

二時間目の國史は自習

した。三時間目の算數

は五十四、五、六頁の問題

をした。四時間目の體

操は自習だつたので日

記を書いた。一時ごろか

ら、西尾寮は、桑山へ行く

途中の方へいなご取りに行った。家があまりない

所へ来てから、草の中を歩くとびよんぴよんと飛び

出してくる。しばらく行った所で取り始めた。た

くさんぬるのでどんどん取れた。道へたれてゐる稻

や並んである稻などはふまないやうにして取った。

二時^半ごろやめて歸つた。にがさないやうにしてト

ランプをしたり本を讀んだりした。三時半ごろから

先生が三家三勇士の本を讀んで下さつた。とても

面白かつた。夕食後の米運びは、米と大豆のほか

に南瓜を十こ運んだ。今日の夜からかやをつ

らないでねた。ひさしづりにのびのびとねられた。



九月二十日

(本曜日) 晴

古藤

今日は航空記念日でした。いつもの年なら飛行機がぶんぶん飛んでみるのだけけれど今年ほもう、戦争が終結したので、一機も飛びませんでした。

今日は西野尻の農業會の方へやさつ

を取りに行く日でした。朝食後おべんた

りをつめて、神社の境だりに集合して

から出發し、

行く途中いなごを取

り取り行きました。

ただくさんお

もしろいほど取れ

ました。この間の早

起き行軍の時行つた

橋でやすみま

やさつが少ししかないと

いふので、六年生だけ、西野尻の方へ行きました。そ

して、ぼくたちは、ここで、晝食にしま

した。かぼちやのまぜ御飯で、とてもおいしい

でした。景氣もとてもよいでした。



九月二十三日(日曜日)雨後晴

霊本間

今日はお日岸の中日で、秋夕皇例祭です。學校では、發表會を

する事になつ

ておますので、

起床を少し早くし

て、西尾さんの工場

の二階で、今日やる錦

の御旗の練習をしました。二度練習をやつてから、學校へ行きました。

た、朝食の時、雨が降つて来たので、先生方が大

の事をお話していらつたので、僕もなにか大

配になつて来ました。朝食後、上野君や細淵君な

五人で、本田寮から、木刀を取つて来てくれました。

朝會後、すぐ、發表會を始めました。僕たち西

寮の錦の御旗は、第六番目でした。本田寮の益志と

や四年女子の物まねなど、どれも、おもしろい。で

十番の思ひ出の軍歌集は、元氣があつて、まだ、戦

をしてゐるやうな氣持になへりました。最後は、宮

先生のトランプの手品もありました。最後は、宮

先生のお話でした。こわいところも、おもしろい

ところも、氣味の悪いところもありました。今日の

發表會は、とても、おもしろく、終りました。學校が

は、十一時でした。晝食後、今日は日曜で、學校が

いてゐるので、夕食まで、ずつと、學校におま

そして、岩倉君や、六年の宮川君たちと、トラン

を遊びました。七並べや、ペーシロンなど、た

えしました。とても、おもしろかつたので、おぼ

よかつたなと思ひました。五六回やると、すっかりな

まひました。夕食は、四時でした。おはぎも、できました。

後、先生方が、歌を、歌つて、いらつたので、おぼ

なかつたので、ぶつぶつ、いつて、おました。すると、食

を洗つてから、阿部先生や、喜門先生に、おこられて

いませした。五人だけ、特別おこられました。僕は、

うちの一人でした。先生方が、いろいろ、お話にな

らうつた。うち、だんだん、わかつて、来ました。

て、今度から、せうたい、あんな事は、しないぞ、と

いませした。夕食後、今日一日だけ、延して、米運びを

しました。それで、残つた人に、三袋の、かんぱんを持

らひませした。寮へ歸つて、みんな、なうつて、から

んを、三袋、おけたなへしまつて、一袋だけ、自分

おつて、あつた。たべらる事に、しました。今日は、五

ました。そして、あとののは、おぼ、みに、食は、れな

らうつた。自分で、自分の、荷物の、所へ、置いて、お

九月二十六日（水曜日）晴のち曇 森

朝起きると、とても寒く身にしみわたるやうに感じたので僕はネルのしやつを着た。

今日は第五日目の授業で、やはり神社の前でおべんきやうをしました。一時間目の音楽は、ピアノ

などがないので、日記を書いておま

した。途中から

喜門先生の國

語をしました。

動員のつづきを

しました。今日

は、しにあるや

うな、秋晴の

とてもよい天気

で雲一つありま

せんでした。

三四時間目は算

数をしました。そ

れでは、い敷のおべん

きやうをしました。とても面白いのでやってあ

らうちにお晝食になつてしまひました。きの

ふかいたしをかへして、ただきましました。そ

うしたら、丸が二つありましたので、うれい

した。が、もつともつと、うまくならうと思ひまし

た。



午後は寮へかへつて、自由でした。日記をかいてから、少年發明家物語の本をよんでおました。エダソンやスナブソンのお話でとてもためになりました。僕もこんなえらい人になつて御國のためにつくしたと思ひました。

夕食後トランプをして遊びました。今日はかんパンをのこりをぜんぶたべました。とおいてたためか、たくさん虫がはいつておました。消燈してから西尾さんのをばさんが一人に柿二つづつ、ただきましたので、いたただきました。とてもあまくておいしかったです。

九月二十七日（木曜日）晴後雨

今日は朝會後頭を刈りに

行かうとして、床屋さんに

行きました。今日は福光中

の床屋さん

の定

休日だ

つたので

寮へ歸つ

たので

書いたたり、しゆくだいのな

くを作つたり、しました。は

くはなかなかよいのがな

ので困りました。



年後は寮へ歸へりました。そして僕
はのらくろや、その外色々な葉書に
書く物を書いたり、午前中のつづ
きのはいくちを作ったりしました。
細ぶち君はもう風がなほつて、
水しきょうにトランプをして遊ん
でゐました。本當は三時からお風
呂に行くよ定でしたが頭が刈れな
かつたから行くのはやめました。
しばらくたつと雨がものすごく降
つて來ました。そしてともさへむく
なりました。夕食はお芋御飯や
枝豆でもおいしいでした。お父
様から手紙が來たのでうれしくい
ました。夜カンパンを食べました。と
てもおいしいでした。それから小公
子を読みました。とてもおもしろ
いでした。明日は休養日です。
寝る時はもう雨は小雨になつて
ゐました。

十月二日 (父曜日) 晴 河野

今日は、第三日目の授業をした。五年は図書館で
や。た。一時間目の國語は俳句會をした。きのふえ
らび出した。俳句のうち、いいのを五句えらび出して
それを先生がお読みになった。そして自分のを
讀まれたら、自分の名前をいふ。いはれた者は

一点だ。ぼくは一点だった。二

目は第三、奈良

造唐使と防

所をならつ

三時間目は

國をやった。今

神戸から下關

を終った。四時間

柔道は神社の境

だ。前方つきや後方つきなど、いろ

だ。午後は、食後、校庭で少し遊んでから、寮へ歸

た。本を讀んだり、俳句帳を作ったり、トランプを

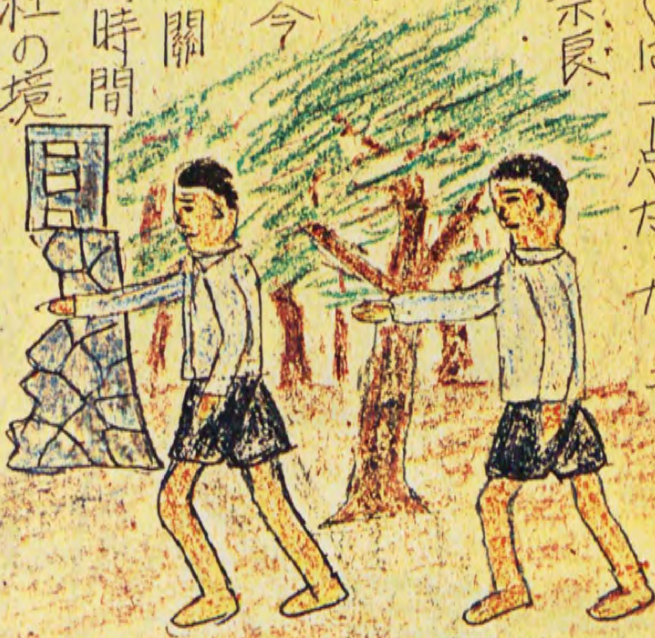
したりした。いろいろしてゐるとすぐ食事用意に

なつた。なんだか時間のたつのがとても早いやうだった。

夕食後、西尾さんにしたたいたたにしまた。ぼ

いはたにしまた。ぼくが始めてだった。とてもおいし

い



時間

の都の

人の

た。

南四

日で

まで

目の

内でや

いろや

十月三日 (水曜日) 曇後雨

今日は朝からびゅびゅりとすざい風が吹いていた
窓ガラスがこわれるかとさへ思はれまゝした

今日は第四目の授業がありました、神社の境

内で勉強がいきないので、雪尾寮でしました、一

時間目は自習をしました、二時間目は、國語を

しました、三日月の影を習ひました、一回ぼくららは

紙芝居をしたのでそれを思ひ出してやりまし

た、三時間目は理科でしたが算數をしまし

た、四時間目加藤先生がいらつしやうなりの

阿久澤先生

がお話しを

て下さりまし

た、とてまし

し、うい、で

午後はや

はり寮へ

りまし

日記を

學班の

業がありまし

た、三時から、錢湯へ行きま

た、知原寺湯は、まだやつてい

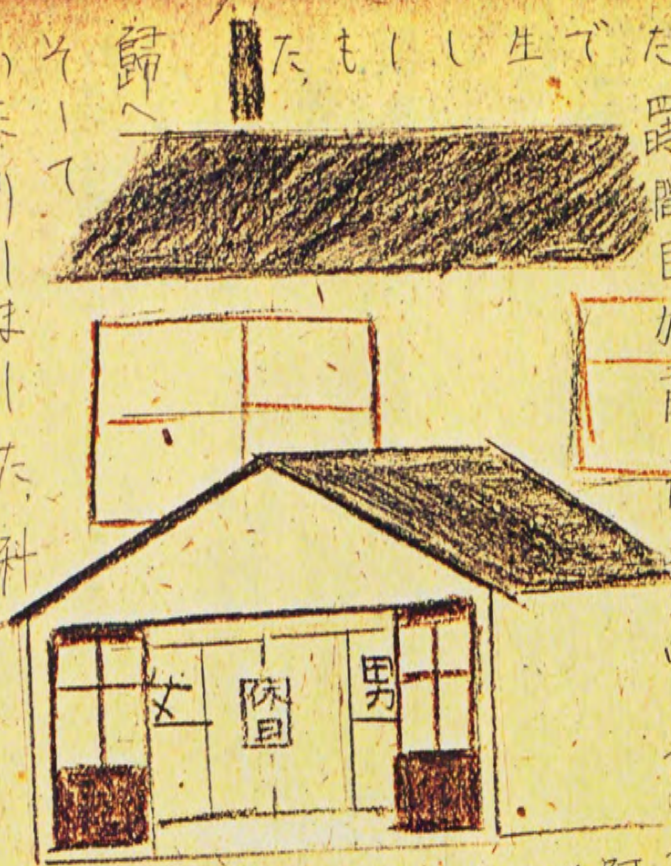
ないので、人參

へ行く、と休

み、で、た、旭湯も休

み、な、の、で

、も、し、や、く、に、さ、わ、り、ま、し、た、



十月六日(土曜日)曇 本間

今日は休養でした。朝食後、体操をしないですぐ寮へ歸つて來ました。日記を

書きま



た。書いてしまつた。紙をとじて、帳面を作りました。

これからは本を讀んだ

り、トランプをやしたりしました。僕は、巖窟王を全

部讀みました。午後からはまた寮へ

歸つて來て、トランプをしてみました。少しや

るとあきてしまつたので、やめて、重

富君にわたしました。これからは、少

わむらうと思ひました。が、ちつともむ

れませんでした。これからは、西尾さんの

中庭の池で、陸男ちゃんたちと、魚を

取つて遊ばしました。あみで、魚をとすく

て、石の丸をくり抜いてある。へんな所

へ入れて、おきました。前に二匹這入つてお

て、今日、岩倉君が三匹取つたので、合計三

匹になりました。ゲンゴロウも二匹取つ

て、いっしょに入れて、おきました。ちよつと

向かふを見るところと、ここの子供が、柿を

取つておきました。少ししたつと、みんなな、室

内へ這入つてしまつたので、僕も這入つて
來ました。それから、新聞を見たけして
ゐますと、出發になりました。夕食後、か
んぱんを、ただけりただきました。

十月九日(火曜日) 雨 森

今日は、第二日目の授業でした。やはり昨日のやうに雨天で小川などはおまにもあふれさうでした。

一時間目は、自習で日記を書いておきました。二時間目も自習日だったので、國語の水んしゆうをしましたりしてみました。

三時間目は、國史で宮地先生がいらつしやるので、よむれんしゆうをしておまもだがどうどういらつしやらなくて、時間をけりにい

らつしやうたためついに國史はやりませんでした。

四時間目の算数は、分數の割算をして圖を

書くれんしゆうを

しました。

午後は寮へかへりま

した。

かへるとい

西尾さんが又あ

けびを三つづつ下

さいました。とてもお

いしいでした。

夕食はなにかでさいぼう

室をつかつておたので下の理

料室で食事をしました。

夕食後小矢部川の高水を見に行きました。

水はもうすごひ急で茶色をして、州な

どけあまり見えなうでした。向かふの方で

は男の人達が水の流をよわくするため、櫻の

木を土手にたぼしておきました。土手の石は見

ておるまにドドドドドドドとくづれて行きま

した。一通り見てから寮へかへりました。



十月十日 水曜日 雨 守口

今日は午前中、四年以上は堀先生からの授業が
くべつな授業がありました。その前に僕
と森君は西尾寮からおみろを運びまし
た。わりと重いでした。堀先生の授業は
福光の中をくわしくしらべたり
富山全休を見てそのどこに
福光があるかをしらべ



たりしまし
た。そのお
けで僕は
今まどし
らなかつ
た町や
村を
よくし
ること
がいき
ました
お話を
すんでから
小矢部川の
大水のやうすを
見に行きま
した。昨日よりは
すくなくなつ
ておりました。がうずをま
いてながれておりました。水のため
にたか宮橋がまがつておりました。
午後は堀先生といつしよ。高宮
橋から福光橋までを歩そして、水の流れ
の早さをしらべました。でも物を流しても
すぐもぐつしまふのではかれません。だ
とて、もごんねんでした。それから時間
ないので図書館で本をよみました。とこも
面白かったです。

十月十五日 月曜日 晴曇 河野
今日は休養日だ。朝食後、高学年の方から、體重側
定をした。ぼくは、二、三、五、五キロふえた。その後五
年の出席ばかり、五人だけ、いも運びをした。全部で六
かんあった。それをすい事場へ置いてから、薪運びに
行った。桑山へ行く途中の道が二つに分かれてゐる所か
ら、西尾寮の倉庫まで運んだ。全部で六十たばある

さうだ。ぼくたちは四回運んだ。車が来るはずだったが来なかった。その後は寮へは行って日記を書いたり、葉書を書いたりした。午後にも寮へ歸った。本を讀んだり、ランプをしたり

だ。三部四年のおかあ様が作ってお菓子を半分づいた。とてもおいしかった。夕食は、せいほう



なかつたのでぼくは民學校の理科室で、女は、三年室でたべた。掃除は道具を取りに行けなないのでや

らなかつた。寮へ歸ってから、明後日が發表會で練習をする日が少ないので「お山の杉の子」の歌を歌ふ事になった。その後は、本を讀んだり、ランプをしたりして自由だった。

十月十六日(火曜日)晴 古藤

今日は、第六日目の授業があつた。時間目は算數でしたが加藤先生が六年生と大根のまびきにいらつしやつたので自習でした。それで圖書館で日記を書きました。二時間目は國語でした。日光になるだけあたるよよいので外で勉強をするよよいにしました。

福光公園の景氣を見ながら三日月の影の苦節の所を習ひました。三時間目は喜門先生が戦況についてお話しがありました。四時間目は久しぶりに晴れたので日なたぼっこを

よよい気持ちで午後には、寮へ歸へつた。寮へ歸へつた。寮へ歸へつた。寮へ歸へつた。

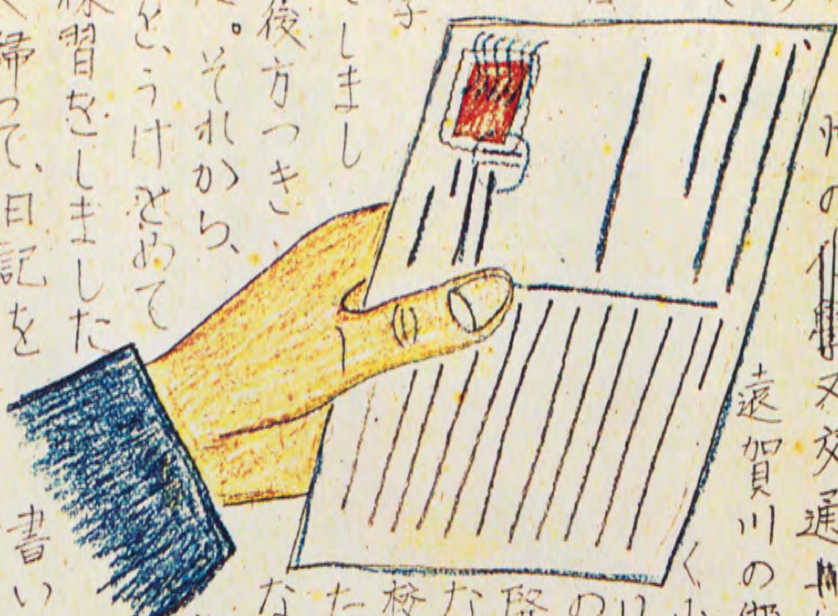


した。寮へ歸へつた。寮へ歸へつた。寮へ歸へつた。寮へ歸へつた。

三時から、入浴湯へ行きました。すいていたのできれいに洗ひました。夕食後、明日の娛樂會の靴下を洗ひました。靴下を洗ひました。靴下を洗ひました。靴下を洗ひました。

十月二十一日 (日曜日) 曇 森

天気がよければ今日運動會をするのでしたが小雨が降つてゐたので第三日目の授業をする事になりました。一時間目は、國語で國語五の全考査をしました。あまりよく出来なかつたので不安でした。二時間目は習字で自習でした。三時間目は地理は九州の作事又交通を習しました。九州のは炭田がたことがわかつた。四時間目は少し雨が外で出来たので國民學の天体操場でしました。前方つきや後方つきを習しました。それから、いて来たのをうけとめてたいにつく練習をしてみました。午後は寮へ歸つて、日記を書いてからあすから國語六をお習ひするので讀む練習をしてみました。それから講談全集をよみました。それからおきました。夕食は石田先生のお歸りになつたお祝ひに御ち走が出ました。柿も出ました。柿は二つ持つて歸つてあしたたべることにしました。



遠賀川の御近に山出るの柔道の降つておなかつた校の雨た。敵のつはん

十月二十二日 (月曜日) 曇 守口

今日は第四日目の授業をしました。國語の時間昨日の考査を歸へしていただくことができました。僕は七十五点でした。でも残念でした。これからもう勉強をしようと思ひました。それから初等科國語六の第一のわの明治神宮を習ひました。文語文でも六ヶ敷でした。二時間目僕たちはまき運びをしました。三時間目は軽いでした。その後はずつと自習なので小刀をとんだり人間は發明するをよするに。電カの事なやせき。たんの事な。ど書いてあつた。午後寮へ歸つて。國語の復習をしました。へつと國語の復習をしました。ばらぐすると宮地先生が持つて来たのでした。新聞を岩倉君が持つて来たのでよみました。武藏の最後やふうせんばんだんの無こうかなどやしいことばかり書いてあります。三時から風呂に行きました。とてもキレイで氣持がよいでした。歸へりに小矢部川を通つて歸りました。細洲君が歸へるのに會ひました。とても大びしいでした。夜柿が出ました。とても大ききあまいでした。



十月二十六日 金曜日 晴 河野

今日は朝から晴れていたので運動會をした。朝食後、新運びをした。運動會は、八時半頃から始めた。見學をする場所をきめていた後、體操をした。

た。三、四年のかけっこ、次は、五、六年の足切競争だ。ぼくたちは、まだ一回もやった事がないので始めはたぬかと思つたが、やってみると

わりにやさし
列に並び少
を二人で兩
足の下を、
る者は、棒
白が勝つた。
た。女金体
は、五、六年
つた。五人つ
ざうり、二
う品がもら
う品がもら
つた。三人つ
は、三、四年
は、二、三年
は、一、二年
は、一、二年
は、一、二年

か。赤白、別に二
し前に置いてある棒
側を持ち、みんなの
持つて走る。並んでね
を飛びこす。それは
帽子取は、赤が勝つ

の機械の遊ぎの次
の百米の徒競走だ
つ走った。一等の者は

等の者は、はしのしよ
へるので、一生懸命走つたが、ぼくは、三等だった。

二、三、四年のボール送りの後は、先生方の競走だ。ボー
ルを足でけりながら、少し先にある目標(標)をこ
まはって来る。けりすぎたり、横へ行ったりしてとて
もゆくわいだった。次は、全員のリレーだった。兩方
にわかれて、始めた。先生方もおはいりになった。そ
のうち、福光校の生徒も見に来た。リレーは、

白が一等だった。その後時間があるので三色合
戦をした。先生方もおはいりになった。はちまきが



たすきの取り、たすきがおびを取り、おびがはちまき
 を取る。そして、敵の棒を取って早く自分の陣地
 につけた方が勝つた。白が勝った。その後体操を
 して、運動會は終わった。晝食は、理科室でやった。
 午後は寮へ歸って、日記を書いたり、トランプをした
 り、本を讀んだりした。夕食は、たくせんごちそう
 が出た。掃除は、暗くなったのでやらなかつた。今
 日、ダグラスが飛んだ。

十月二十七日 玉曜日 晴 古藤

今日は、天氣がよかつたので立野ヶ原へ

行軍に行つた。朝食後す

ぐおべんたうをつめて八

時半ごろ出發しまし

た。高見橋へ來るとこ

の間このれた所を

なほしてました。

くんれん所へつくと

もう農場になつて

いて、うさぎやにはと

りがかつてあつた。そご

五分間ぐらゐ休けい

してから出發した

前に、グライダーのく

んれんした所へ來る
 と、そごで全体が止つた



そして、作業にうつた。ぼくたちは、薪集めだつ
 た。終つてから、たき火にあつた。とてもあたたか
 かつた。十一時半ごろから、晝食をした。こつちで、たいた
 たお汁は、とてもおいしかつた。食後に、掃がありま
 した。一時から、三色合戦をした。先生も、一つしよにな
 つて、元氣よくやつた。ぼくは、赤だつた。そして、赤が二
 点で、白が一点で、ぼくたちの勝だつた。とても愉快だ
 かつた。二時半立野ヶ原を、出發して、こちらに、三時半に
 ついた。夕食後、西尾さんが、おもちを下まつた。とても
 おいしかつた。

十月三十日 (火曜日) 晴 森

今日は休養がした。午前中女學校に
作ってあつたまきの屋根をくづして西尾
寮へはこぶ仕事を四五年でやりまし
た。あんが、早
にまきをを五
です。事場へ
した。晝食
けいだいにま
りよい。天気で
たほ、こけあまり
ったのでつまりま
午後、寮へ歸る前
川の土手を通つて東町
て自由にさんぼしなから歸りました。



く運べて歸り
本位づつ運ん
持つて行きました。
まで神社の
した。あま
ないので日な
よく出来なが
せんでした。
に小矢部
西町を通

それから日記を書いてお母様へお手紙を書きました。それからフクネヤンの本を讀んでみました。

夕食の時齋藤先生がえびを持って来て下さったのですぐニ匹づついただきました。このごろえびなどめつたにたべないのでとてもおいしいでした。

夕食後乾パンを九個づつたべました。

十月三十日（水曜日）曇後雨後曇

今日は桑山行きです。でも昨日のやうな秋晴のよい天気じゃあないので残念でした。八時半に神社を出発して桑山へ向かひました。

途中、先頭の宮地先生が登口をまちがへてしまつたのでトンネルの近くまで行つてしまひました。

た。そして又桑山からひも返して桑山に登りました。途中、まが登るとちやう上に人がいて手旗みたいになつてゐるのでよく見るとそれは野採を買ひに行らうしやつた喜門先生でした。

そこで僕たちは元氣を出して喜門先生に負けるなとちやう上目ざして登りました。おどろいた事にこの間、

通つた道がなくなつてそこにスライクスのやうな物が出来てゐました。上についたのが五時二十七分半でした。下に見える秋の礪波平野は本當にきれいでした。十一時そこでおべんた

は本當にきれいでした。十一時そこでおべんた



をたべました。とてもおいしいでした。雨が降りさうになつたので五時五十分に出発していそがでおりました。福光につくとすぐ寮へ歸つて日記をつけたり本をよんだりしました。